

ほほえみの会の総会が開かれました。
会が発足して丸2年、月に1度の会合も24回目を
数えます。総会では96年度の活動内容、会計報告
が行われたあと、役員が選出されました。

< 97年度役員 >

代表 池田 恵一
副代表 鈴木 利治
世話人 石川 美奈子 藤田 妙子 杉山 禎
島崎 美由貴 塩川 美恵子 村瀬 彰子
会計 小嶋 隆

この会は難病の子供を持つ親が、悩みを語り合い、
元気を出し合う人たちの集まりです。
病気を知ったとき、病気と闘う中、再発した時、
人には言えない、言ってもわかってもらえない、
そんな心の中をお互いに語り合う場です。
その時々、精神的に辛い1人のために話し相手
になりたい。悩みも人に話すことで気持ちの中に
整理ができ、気分が楽になります。
今年も毎月第2日曜日は病院3階で会を開きます。

医師講演 「骨髄移植に見る最新医療事情」
天野先生が今一番進んでいる「さい帯血移植」について話して下
さいました。
「さい帯血」とは赤ちゃんが産まれる時の、へその緒から採れる
血液（造血幹細胞）です。造血性、免疫性に優れていて、今注目を
集めています。
赤ちゃんが生まれ、胎盤が出るまでの間に採取ができ、提供者に
負担が少なく、必要なときすぐに移植ができる。HLAが完全に
一致しなくても拒絶反応が少ない利点があります。

一方で採取の量が少なく、成人（体重20キロ以上）の移植には
向かない。保存費用がかかる。先天性の病気の移行の心配などの
マイナス面もあります。

しかし骨髄バンクのドナーにも限界があるため、画期的な移植と
して注目を浴び、期待されています。
今年の4月から県立総合病院で採取を始めました。妊婦の協力も
得やすいようで今までに既に20件採取されているということです。

体験談

田中裕子さん海野吉美さんが貴重な体験談を披露してくれました。
共に骨髄移植を体験され、今元気です。
特に田中さんはご主人が海外勤務の中苦労されたようです。
そうした中、医師と子供と母親の3者が一体となることの大切さ。
母親が頑張らなくてはいけないと肩肘張りすぎて子供にプレッ
シャーを与えてしまった。気持ちのゆとりが必要などの話が出まし
た。また具体的なおもちゃも提示してくれました。
また海野さんからも病気だと思いこむと益々病気になるので明る
く過ごした。兄が面倒を見てくれた。兄弟の大切さなどを語って
くれました。今20歳になり看護婦を目指しているそうです。

総会にはおよそ50人が参加、また子供も10人以上集まりました。
総会の最中、中川さん佐藤さんらが小さな子供の面倒を見て
くれました。ありがとうございました。

会費は今年も 円とします。会報制作費や切手代にも満たない
額ですがあとは頂いた寄付で賄っています。
会費を未納の方は是非納入をお願いします。

次回は7月13日（日）12時からです

ほほえみの会 代表 池田 恵一